

# しょうわ 議会だより

第 21 号

平成14年

7月25日

6月定例議会



▲ 昭和村立南小学校の2年生が役場見学に訪れました。  
学校からずっと歩いてきましたが、みんな疲れもみせず元気いっぱいでした。

## おもな内容

**6月定例会で決めたこと** (2~3ページ)

**一般質問 村の姿勢を問う** (8~12ページ)

**議会視察研修報告** (14~17ページ)

読者シリーズ **聞きたい 知りたい みんなの声** (19ページ)

# 6月定例会

## 福祉センター 利用料金値下げ

総合福祉センターの利用料金が、午後6時以降に利用する場合、村内一般利用料金300円を200円に、また村外一般利用料金500円を300円に値下げします。  
これは近隣に同様の温泉施設が新たにできたため、利用客の増を考慮して値下げしました。



福祉センターを訪れる人々

### 午後6時以降の 利用料金を値下げ

昭和村国民健康保険税が一部改正されました。  
介護納付金分保険料の均等割分5400円を6300円に、平等割分3

700円を4500円に引き上げました。

6月定例議会は、6月6日（木）から12日（水）までの7日間の会期で開催しました。  
昭和村総合福祉センター利用料金の引き下げを初めとする議案3件、昭和村土地開発公社の財政状況報告、補正予算2件が上程され、原案のとおり可決となりました。  
また議会最終日の一般質問には、5議員が登壇し、質疑が交わされました。

## 国民健康保険税を改定

### 介護納付金分保険料

# こういことが 決まりました。

## 一般会計補正予算

### 昭和の森業務委託など

# 4158万6千円増額

昭和の森施設の各種保守業務委託関係及び昭和の森山荘の修繕・備品購入、また、松ノ木平第一地区の住民センター建設

補助金や昭和の湯和風風呂改修工事費が主な補正予算の内容です。  
補正額は、歳入・歳出それぞれ4158万6千



▲昭和の森山荘

円を追加し、予算総額は、38億5410万6千円になりました。

**Q** 村の公共施設の維持補修工事は、村で契約をして行ってきたが、昭和の森維持補修工事は委託会社が工事請負契約をしている。これは問題ないのか。

**A** 企画課長  
村と昭和の森有限会社との契約の中で、維持補修等が発生したときには、昭和の森有限会社の方で維持補修をする、それが大規模になったときには、村長と相談して補修をするという項目が入っております。

**Q** 昭和の湯・和風風呂の改修工事では、およそどのくらい昭和の湯の休館日をみているのか。

**A** 保健福祉課長  
期間については、まだ詳細にはわかりませんが、概略で約1ヶ月間くらいではないかという話です。

## 老人会計予算 4035万7千円増額

平成13年度の精算に伴い、歳入・歳出それぞれ4035万7千円を追加し、予算総額は、9億3717万1千円になりました。

### 議会日程

- 6月6日  
本会議  
全員協議会  
農集排特別委員会
- 7日  
民生文教常任委員会
- 8日～9日 休会
- 10日  
総務常任委員会
- 11日  
産業建設常任委員会
- 12日 本会議

# 4月臨時会

4月19日（金）に第23回臨時議会を開催しました。  
平成13年度一般会計補正予算の専決処分の承認を含む、承認3件、昭和の森の設置に関する条例の制定、平成14年度一般会計補正予算が上程され、原案のとおり可決しました。

## 村民のレクリエーションの場として

### 『元気の家（仮称）』建設など 3838万円を増額（一般会計補正予算）

歳入・歳出それぞれ3838万円を追加し、予算総額38億1254万円になりました。

主な内容は、昭和の森管理委託料及び高齢者の

健康増進と生きがい活動を推進するため総合運動公園に『元気の家（仮称）』を設置するためのものです。

### 昭和の森（有）が管理運営

昭和の森の設置及び管理に関する条例を制定しました。

昭和の森は、村民の健全な観光レクリエーションの場、スポーツの場として、村民の健康及び福祉の増進を図るため設置しました。  
その管理運営は、昭和の森有限会社に委託します。

昭和の森有限会社は、資本金300万円、出資金は村が250万円、利根郡信用金庫が50万円の会社です。

役員構成は、代表取締役は昭和村助役、役員に利根郡信用金庫総務部長、昭和村役場総務部長、産業課長、監査に出納室長となっております。

### 専決処分を承認

- 平成13年度一般会計 補正予算
- 昭和村税条例の改正
- 平成14年度一般会計 補正予算



▲昭和の森ゴルフ場

# 7月臨時会

第25回臨時議会は、7月10日に開催しました。

一般会計補正予算を含む議案4件、専決処分1件が上程され、全議案を原案のとおり可決しました。

## 永井・入原汚水処理場施設 2億8560万円で落札

今年度実施する永井・入原汚水処理施設工事業の入札が7月8日に行われました。

指名業者1社の中で競争入札の結果、日立金属・小野里・篠田特定建設工事共同企業体(代

表 村松正明氏が2億8560万円で落札しました。

この処理施設は、計画戸数241戸、処理対象人口は960人です。平成16年4月供用開始に向け工事を進めます。

## 消防ポンプ車2台 3034万5千円で購入

本村消防団第4分団・第8分団の消防ポンプ車2台を購入するため、7月8日、5社による指名競争入札が行われました。その結果、株式会社カドック大利根(代表 新木良作氏)が、3034万5千円で落札しました。

## 総合運動公園 野球場照明料が 引き下げに

昭和村総合運動公園野球場の照明施設使用料が、7月1日から引き下げられました。

これまでは1時間2000円の使用料でしたが、村民の利用に限り、今後は1時間1000円で利用できるようになりました。



▲総合運動公園野球場

## 一般会計補正予算 609万円の増額

予算総額38億6019万6千円

### 主な内容

- 法人税の確定申告に伴う村税過誤納還付金 390万円
- 第16回群馬県消防ポンプ操法競技大会出場経費 219万円

## 職員の不祥事で 村長・助役が減給

先日の職員の不祥事に伴い、村長及び助役が管理責任を問われたことにより、村長が3ヶ月間10%、助役が2ヶ月間10%の減給処分となりました。

今後は、村民の方々の信頼と信望を失う行為を犯すことのないよう、職員の綱紀粛正に努め、管理の徹底を求めました。

# 常任委員会のうごき

## 総務委員会

本委員会は6月10日役  
場会議室で開催しまし  
た。

請願陳情の審査では、  
国民本位の公共事業の推  
進と執行体制等の拡充を  
求める陳情書について論  
議した結果、公共事業を  
国民の暮らしと環境保全  
優先に転換すること等、  
趣旨は理解できるとし

て、全会一致で趣旨採択  
としました。

ライフル射撃場整備に  
ついての陳情書は、ライ  
フル射撃場周辺の状況  
等、まだまだ調査検討を  
要するとして、継続とし  
ました。

日本国憲法第9条を擁  
護し、有事法制関連法案  
の撤回を求める意見書採

択についての請願書及び  
有事法制三法案廃案の意  
見書を求める請願につい  
ては、慎重審議を行った  
結果、現在日本中で論議  
されている問題であり、  
本委員会でも慎重に検討  
する必要があるとして、  
継続としました。

また、委員会所管の事  
項について、報告を受け、  
今後の対応等、意見交換  
を行いました。



▲総務委員会の様子

## 民生文教委員会

本委員会は6月7日に  
開催しました。

現在、第一保育園建設  
について検討されていま  
すが、今回は建設場所が  
話し合いの中心となりま  
した。

現在の保育園の場所  
は、県道に面していて危  
険が多く、水路も流れて  
いるため、大雨の時に心  
配があること等、いろい  
ろな意見が出されまし  
た。

旧東中学校跡地が、村

で利用できるようになって  
きたこともあり、その有効  
利用の一つとして、村長  
に意見を求めたところ、

「現在地は、県道に面し  
ており、又、東小学校校  
庭の形状も悪くなってい  
る。運動会等の時、交通  
指導に苦慮している点等  
から、旧東中学校跡地が  
良いのではないかと考え  
ている。」

と言う話がありまし  
た。

総合運動公園に建設す



▲元気の家建設予定地を調査

## 甘楽町・榛東村・沼田市の 保育園を視察

る「元氣の家(仮称)」について、現地調査と検討を行いました。これは高齢者の方々にいつまでも健康でいていただくために建設します。

みなさんが、ゆとりを持ち楽しい時間を過ごせる空間になることを期待しています。

また、BSE問題について話し合い、国内の牛肉は全頭検査を行い、流通されるものは、厳しい検査を合格し安全である

のに、なぜ学校給食に利用しないのか。

不安を持っている方々が、安心して牛肉を食べられるよう努力して欲しい等の意見が交わされました。

BSE問題は、社会問題になっていきます。

「食べなければ安心」ではなく、みんなが安心して牛肉を食べられるように学習の機会を作つて欲しいと思います。



▲第一保育園を視察

第一保育園建設委員会は、7月12日に、甘楽町・榛東村・沼田市の保育園を視察しました。

甘楽町の保育園は、木造平屋建てで、冷暖房から調理まですべて電力を利用する「主電化保育園」でした。

榛東村の保育園は、鉄筋コンクリート造り平屋建てで、全体的に光の入る明るい造りになっていました。園庭も0歳児から2歳児まで対象のもの、大きい子供用の2つに分けてあり、非常に好感が持てました。沼田市の保育園は、木造平屋建てで、木のぬくもりを大切にしました造りになっていました。

保育士さんの話では、

保育園の建設をする時はそこで働く人達の意見を取り入れて建設した方が、園児にとって、良い環境になるという事でした。

役場に戻り、第一保育園の建設場所と建設仕様について話し合わせ、場所は旧東中学校跡地を利用、鉄骨コンクリート造り平屋建てで計画することになりました。

8月末頃までに、設計コンペを行い、設計会社の選定を行う予定です。今後も、子供達がより良い環境で保育が受けられるよう、考えていきたいと思えます。

## 産業建設委員会

本委員会は6月11日に開催しました。

請願陳情の審査では、炭焼き窯購入補助に関する陳情について、陳情団体の「清流を守る会」はボランティア活動を多く行っており、今後このような団体が多く育つことにより、村の活性化にもつながると考えられることから、いろいろな補助事業を検討し、前向きに対処して欲しいと、村当

局に要請し、全会一致で採択しました。

また、桜地区の村有林間伐箇所を調査したところ、シルバー人材センターの皆さんによって、きれいに伐採され、今後が期待できます。

営林署の苗畑分譲後の状況調査、利根村で行っている鹿避けネットフェンスの状況調査を行い、今後行われる本村の事業について話し合いました。



▲きれいに間採・枝打ちされた村有林

ここが聞きたい

# 村の姿勢を問う



小野一男議員

廃棄物処分場の  
土壌汚染  
対応はどのようなのか

ので、排水水等の調査は義務づけられていないため実施していません。

Q 水源の汚染に関してはどう思うか。

Q 現在も廃棄物を素掘りで埋め立てているが、今後も続けるのか。

A 村 長  
水道の水源については、水道法により年1回、源水40項目・浄水46項目と浄水の毎月調査10項目を毎年行っています。現在、飲料不適はありませんが、いずれにしても地下水の安全確保は必要であると思っています。

A 村 長  
資金については、迷惑施設の要素を建設負担割合に取り組むか、周辺対策事業としていくか、今後議会と相談しながら検討したいと思います。合同の処分場の安全性ですが、地下水等の汚染は、大きな環境問題と考えています。

Q 周辺住民が安心できる処分場の建設を検討していきたいと考えています。

Q 本村の危険物等の廃棄処分場(旧射的場跡地)に現在までに埋め立てた面積と廃棄物の量はどれくらいか。

2万2143立方メートルで、重量換算にして9000トンの危険物・粗大ゴミを埋め立てた状況です。

A 村 長

現在の処分場は、昭和47年10月から埋め立てを開始しました。

概算で、廃棄物処分場6カ所、延べ面積6440平方メートル、埋め立て量は、本年3月現在で

Q 廃棄物処分場の地下浸透水汚染や土壌汚染の調査は、定期的に行っているのか。

国の定める1000平方メートルに該当しない

A 村 長

国の定める1000平方メートルに該当しない



▲昭和村廃棄物処分場 素掘りで埋めたてているが…

A 村 長  
埋め立てできる品目については、次の処分場ができるまでは、埋め立てをしていきたいと思っています。

Q 処分場の一部に、アスパラとウドの廃株の捨て場所があるが、三カ村合同最終処分場が整備された後はどうなるのか。

A 村 長  
この廃株処理の問題は、県でも再利用の研究をしています。村でも十分検討し、村で処分が出来るような方法を考えていると思っています。

Q 昭和村・白沢村・川場村の三ヶ村合同最終処分場を現在の処分場の隣接地に建設することにより、周辺の環境を整備する資金ができるか、どのような安全対策を講じることができるのか。



議員 由譽 浦澤

## 町村合併を農協合併に考える

**Q** 利根沼田農協の合併を踏まえた中で、もし昭和村が合併し、昭和村出身の議員が何分の一しか居なくなつた時、昭和村村民の希望する地域になるか心配があるが。

**A** 村 長 平成の合併は、住民主導の合併を基本としていることから、住民が求める行政需要に必要な財源措置を、現状の財政状況と今後の計画に基づく検討を重ねた上で、判断が必要となつて来るのではないかと考えています。

協力をお願いしたらどうか。

**A** 村 長

村内各種団体、行政改革委員さん及び村づくり協力委員さん等、幅広く多方面の方々の意見を聞きながら、当局と議会が一体となり課題を検討する必要がありますかと考えています。

**消費者と生産者のお互いの顔の見える農業・消費者直結農業と農業振興について**

**Q** 現在、輸入野菜の残留農薬問題や、雪印乳業を初めとする偽装食品販売等、食品の安全と偽装の問題がクローズアップされている。

そんな中、安全で安心

な農産物を提供する、それが昭和村の進むべき道だと思つた。

昭和村は消費者直結農業に進める要素があり、東京や横浜等、大消費地の人たちとの交流を図り、最終的には直売所を大都市にオープンするの

が目標であると思つた。

そのためには、消費者との交流事業や農家の意識改革に村が金をかけることも必要と思つた。消費者直結農業と農業振興について、村長の考えを聞きたい。



▲安心・安全な農作物を提供する旬菜館

**A** 村 長

昭和村の農業振興のため

に、首都圏の新たな販売ルートの開拓や、生産

性の向上、高品質化による販売、消費者ニーズに適した生産体制の確立等に努め、本村の特性を活かした生産基盤体制を図りたいと思つた。

今後は後継者に向けた研修会を実施する等にも力を入れたいと思つた。消費者直結農業については、消費者は安全・安心・安定・新鮮を求めています。

これに対応するため、エコファーマーの認証制度や特別栽培の認証制度等、安全面に重点を置いた政策がとられています。

これらを推奨し、消費者の要望に応えられる農産物の生産基盤確立を急ぎ、直売所の活用、契約栽培の促進等、あらゆる機会をとおり、昭和村農産物のPRに努めたいと思つた。

現在、横浜市小学校による農業体験や農村塾等、徐々にではありますが、消費者との交流も始まつています。

このような機会を通じて、販路の拡大、顔の見える農業、昭和村へ来てくれる農業へと発展していけたらと考えています。



議員 幸美 林

## 市町村合併問題は

**Q** 昭和村は一度合併を経験し、いろいろな弊害を乗り越え、合併後40年

余り、村民一丸となり、他町村に負けない村づくりを進めて来ました。

かつて生越地区が昭和村に合併するにあたり、住民投票を行った経緯があるが、今回の合併問題について、そのような考

えがあるのか。

**A** 村 長

市町村を取り巻く環境は厳しさを増しており、いまだ合併特例法期限後の財政措置等、不透明な源です。

村の行く末を考えたとき「市町村合併の議論」は避けて通れぬ問題であり、検討する手段として、利根沼田地域に限らず、広い範囲での検討も必要と考えます。

### 行政改革委員会の答申について

**Q** 前村長の時、行政改革委員会があり、何度も会議を開き、第一次答申として保育・給食システムのスリム化と、経費削減について、第二次答申として補助金の整理合理化と適正な支出へと答申の提出があったが、私の記憶では、各種団体に対しての補助金カット以外の内容について話し合った覚えがない。

前村長の時とは言い、

答申の内容について、村長に考えを聞きたい。

**A** 村 長

行政改革委員会の答申は、第一回行政改革委員会では平成11年1月に開催しました。「任意団体組織の整理統合と補助金の見直しについて」「保育園の統合について」「学校給食センターの民間委託について」の三案件につき、第6回まで委員会を持たれ、平成12年7月に第一次答申、平成12年11月に第二次答申が出されました。

その後、答申の内容を尊重し、行政運営を行ってきた所存です。

**Q** 平成12年11月の答申以後、一度も行政改革推進委員会は開かれておらず解散状態。

この委員会はいままで続くのか。  
任期は何年までなのか。

**A** 村 長

行政改革推進委員さんの任期は、平成14年3月で終了しています。

今後、市町村合併等の関係もあるので、行政改革推進については、必要に応じて委員会の開催をお願いしたいと思います。



▲赤城村議会との合同勉強会の様子

**Q** 行政改革推進委員会

は任期終了になっていますが、今後の人選はどのような方法ですか。

**A** 村 長

今後の人選は、前の方々を含め、いろいろな角度で検討したいと思います。



林 幸司議員

### 有事法制反対

**Q** 現在、国会では有事法制の審議が緊迫した情勢なっています。

日本国憲法を読んでみれば、有事法制が明確に憲法に違反していることがわかります。

日本が「二度と戦争をしない国」から「再び戦争をする国」に変えられてしまう有事法制に、きっぱり反対し、東京国立市長のように、市町村行政に支障が生じる問題については、国に意見書を提出して欲しい。

**A** 村 長

有事三法案は、日本が武力攻撃を受けたとき、首相が強い権限で国内を指揮し、自衛隊が円滑に行動できるようにするためのものと考えます。このような大事な法案

は、事前に地方自治体に十分な説明がされるべきで、今後国会の場で、防衛と地方自治の関わりを、地方自治の本旨に照らして真剣な論議がされることを期待しています。

意見書については、県内の動向を見守って対処したいと考えます。

### 村営住宅 早期建設は

**Q** 村長にとっては村民

への公約の一つとなっている村営住宅建設だと思いが、利根沼田の各市町村別公営住宅の整備状況はどうなっているのか。

また、村長の任期中に建設するには、今年中に具体的な検討をしなければ間に合わないが、決意

を聞かせて欲しい。

旧東中学校跡地は最有力候補として建設を進めて欲しいと思うが、見解は。

**A** 村 長

利根沼田の公営住宅状況は、平成13年度群馬県市町村要覧では、沼田市の375戸を筆頭に、水上町352戸、月夜野町172戸、利根村58戸、新治村28戸、片品村20戸、川場村4戸となつ

ています。

しかし、住民ニーズに十分応えられず、財政圧迫の要因にも苦慮していると聞いています。

現在、村独自で建設するか、国や地方等多方面で検討されているPFI方式も検討する必要があると考えています。多方面から検討し、村民ニーズに合った村営住宅を確保することが必要だと思います。

**要介護認定者の障害者控除は**

**Q** 要介護認定が始まり、納税者の中から「要

介護認定者に障害者控除の適応を」と申し出る人が増え、市町村が認めるケースが相次いでいます。

本村では、障害者手帳を有していないが、障害者及び特別障害者控除を受けている人は何人いるのか。

村長として、障害者控除対象者認定書を発行した経過はあるのか。

**A** 村 長

障害者手帳を有していない村民で、障害者及び特別障害者控除を受けている人は20人です。

障害者控除対象者認定書については、厚生省の見解では、障害者・特別障害者控除の基準と要介護の基準は違うものである。要介護に準じて一律に障害者控除等の認定書を発行するのは適

当でないとしており、国税庁も要介護認定者と障害者控除の対象者は一致すると考えていないと言っています。

そのようなことから、今後十分検討したいと思っています。

**鹿等による農作物被害対策は**

**Q** 利根沼田では、水上町・新治村では猿、利根村では鹿による農作物への被害が増えている。

本村の鹿等による農作物等の被害状況、推計被害額はどうか。

鹿避けフェンス等の対策を早急に進めて欲しい。また、少し先を見通し、猿に対する対策も早めに講ずる必要があると思うが、村長の見解を求める。

**A** 村 長

本村の鹿・熊による農作物の被害状況は、赤城原周辺が主に被害を受けており、年間40〜50



▲利根村の鹿避けフェンス

万円程度の被害がありま

す。鹿は、大根・小豆、マールチに穴をあける等の被害があり、今後増える傾向にあると思います。

鹿避けフェンスについては、本村でも今年800万円の予算化をしています。これは県が2分の1補助で特別交付税措置を受けることができま

す。事業が採択になりましたら、今年度、国有林境に高さ2メートルほどの金網フェンスの設置を約1キロメートル計画しています。なお、全体では約10キロメートルを計画しており、全体事業費は約1億円となります。猿に対する対策は、本村では猿の被害は出ていませんが、この問題も関係機関の指導を受けながら対応していきたいと考えています。

▲有事法制はどうなるのか

※PFI方式……民間の資金や経営手法を使って、公共施設の建設、運営を行うこと

**小学校卒業まで  
医療費無料化を**

**Q** 利根村などと同様に、小学校卒業まで医療費無料化を拡充して欲しい。

小学校卒業まで及び中学校卒業まで拡充するためには、村では年間どのくらいの予算が必要になるのか。

**A** 村 長

本村でも、平成11年8月から就学前の幼児の無料化を実施しています。

小学校卒業までの無料化は県内でも3町村です。小学校・中学校卒業までの無料化は県内・郡内の状況を見ながら検討します。

また、小学校卒業まで無料化にすると、約1700万円で、中学校卒業まで無料化にすると、約2500万円の予算額が必要と思われる。



治田 貞賢 議員

**合併処理浄化槽、  
漏水が見られるが  
今後の対応は**

**Q** 平成13年度で48基の戸別浄化槽が設置され、今年度も多くの設置が計画されているが、設置後、漏水が見られるので今後の対応策は。

**A** 村 長

今回初めて事業実施した48基の中で3基に漏水が見られました。

漏水箇所に付き早急な原因究明を行い、完全な防水処理を施し、現在は異常は見られません。

今後の対策として、製品管理の徹底を図り、施工方法の確立、埋土する前に必ず水漏れ検査を実施し、万全を期して実施したいと思います。

**Q** 今の製品は据え付けや施行に時間がかかり、コスト高ではないか。

現在多くのFRP製品が開発されているが、なぜコンクリートなのか。

**A** 村 長

選定するにあたり、FRP製品とコンクリート製品を経費面構造面での比較検討をしました。

今回導入したものは、乗用車程度の車に乗っても耐えられ、また、FRP製品と異なり、浄化槽全体の引き抜きをしなくて済むので維持管理等のコスト面で安く済みます。

さらに農業集落排水事業と同様な使用料で村が維持管理をすることから今回の製品を選定しました。

**Q** 昨年の48基を設置する際、漏水検査を一度

もしていないと思うが。

**A** 村 長

埋め戻し前には実施していません。

今後は漏水検査をして埋め戻すよう指導します。

**Q** 製品の構造上、設置工程も難しく、施工業者の責任とは言い切れない。

**A** 村 長

この件については、職員に調査検討させ、その後の特別委員会で、維持管理を含め、これが適切であると理解をしていたのだと思っています。

また金具の締めすぎのことだが、将来ゴムのパッキンが腐食して漏水する心配はないのか。

**農業用廃ポリ等再資源化施設の建設を**

**Q** 廃ポリ及びビニールの再処理工法が完成され、実用段階にあると聞いているが、村独自のカラーを出すために、再資源化施設の建設を進めて欲しい。

**A** 村 長

マルチ等の全面野焼き禁止は、農薬被害等与える影響は大きいと思います。村独自でも再生することに伴う消毒液等の含有による農作物への安全性の確認、強度、色、価格施設整備等について調査と試作品の研究を進めています。

資源循環型社会の構築を基本に考えると、再生・再資源化が必要であると思います。

現段階では、財政難も考慮し、県・自治体・JAとの協議が必要であり、しばらく時間をいただきたいと思っています。



▲個別浄化槽設置状況を把握

※FRP製品……ガラス繊維の補強材で強化されたプラスチック製品

# 特別委員会のうごき

## 全員協議会より

### 3カ村最終処分場は

4月から6月までに全員協議会は5回開催されました。

この中で主に話し合われたのは、昭和・白沢・川場三ヶ村合同最終処分場についてです。

今までの三ヶ村の話し合いの経過説明があり、論議を行いました。

経過説明の中で、設置

場所は、人口の多い順となり、3村では一番人口

の多い本村が最初に最終処分場を設置する予定になりました。

今後、場所の選定を村内の状況等を考えながら、協議することになります。

### 職員の不祥事が報告される

職員の不祥事問題について説明がありました。

度重なる職員の不祥事に、議会として、村民の方々の信頼と信望を損なう行為を、二度と起こすことのないように、厳し

い姿勢で話し合われました。

改めて、職員の公務員としての自覚を促すとともに、綱紀粛正を図るよう、村長に要請をいたしました。

## 農集排特別委員会より

### 加入奨励金

### 交付期間は3年です

本委員会は6月6日に開催し、事業完了に伴う分担金の精算等について話し合いました。分担金はどのくらいになるのか、現在の加入率と加入促進等について協議しました。

加入奨励金は、糸井・

ります。

三ツ谷地区が平成15年6月まで、昭和南が平成16年3月までに加入された方に交付されることにな

奨励金交付期限も迫ってきました。みなさんの加入をお願いします。

## 戸別浄化槽事業 今年度は40基確定

赤城高原地区戸別浄化槽事業は、今年度、県補助40基が確定しました。現在、この事業を希望されている方が多いため、今後、この事業がより多く実施ができるよう県に要望していきます。

# 議会視察研修報告

議会各常任委員会合同視察研修は、5月21日（火曜日）から24日（金曜日）の3泊4日で行いました。

今回の視察の目的は、現在、日本中で論議が交わされている市町村合併について、合併した町村の現状や合併に至るまでの経過を研修するため熊本県免田町を訪れました。

また、最近スーパー等でよく見られる輸入生鮮野菜や野菜の加工販売について、高齢化社会に向けて高齢者総合福祉施設について研修を行いました。



# 総務委員会から

## 市町村合併を先進地に学ぶ

町村合併先進地熊本県中球磨五ヶ町村免田町、上村、岡原村、須恵村、深田村の現況をつぶさに見聞し、我が村の合併の参考にすべく研修をしてきました。

中球磨地域を形成する五ヶ町村は球磨盆地の中心部に位置し、平坦部の中央には球磨川鉄道と国道219号線が東西に走り、免田町を中心に一体的な地域を形成し、地理的・歴史的にも経済文化生活の面でも強い結びつきを有し、住民の交流も活発である。行政レベルでも昭和39年から昭和52年まで、中球磨五ヶ町村農業構造改善事業組合を設立し、耕地の圃場を区画整理する等主産業である農業の発展に取り組んだ



▲合併への経過説明をうける

経緯があり、し尿ゴミ処理場、火葬場、消防、医療老人福祉等においても、各事業毎に事務組合を設置し、総合的な広域行政の推進に取り組んできた。歴史的にも明治の合併、昭和の合併でも合併の話が出たが、合併推進に向け努力したが町村合併に至らなかった。

平成8年、市町村自主的合併モデル地域中球磨広域行政懇談会から合併協議会を設置、地域住民意向調査をして、中球磨5ヶ町村の回答者のうち63%〜85%が合併の必要性を認める回答があり、当地域は市町村合併のモデル地域として報告される。また、平成7年及び

8年には、県及び県内市町村の共催により市町村トップセミナーが開催され、中球磨5ヶ町村長の段階で今後進展するであろう地方分権への対応策を検討する必要性を感じ、平成8年10月中球磨5ヶ町村広域行政懇談会を設置、平成11年4月法定協議会設置、平成13年5月合併推進を確認、平成13年11月22日5ヶ町村長による調印式廃置分合の議決、平成14年4月総務大臣への届け出、総務大臣告示。新町誕生となる。此の地区は、以上の経過に依り地理的風土的に合併をして当然と感じました。

# 民生文教委員会から

## 高齢化社会に向けて

本村でも高齢化がすすんでいる現在、今後、住民のみなさんが安心して老後を向かえるために、住民のみなさんが何を必要とし、どう考えるかを学ぶため、高齢者総合福祉施設を訪問しました。

高齢者総合福祉施設  
「シティーケアサービス」  
福岡市を視察しました。

この施設は、地元の人たちの要望で社会福祉法人「シティーケアサービス」が公用地を借りて設置したものです。

市の中心の高台であり、住環境のとても良いところにあり、平成13年6月に開所した新しい施設です。

施設の概要は次の通りです。

この施設でよいと思わ

### 施設主体

社会福祉法人 シティーケアサービス

### 施設名

ケアサービス「シティーケア長住」

### 定員・室数

ケアハウス	20人	19室
デイサービス	30人	
特養	50人	
生活支援	20人	
シヨートステイ	10人	



▲シティーケアサービスの説明をうける

れた点は、

○ 自動通報（ケアモニター）設置

○ 居室とトイレにセンサーを設置し、入所者の異常を検知する。

○ 入居者による手動通報「ケアホン」で居室にいながらスタッフとの会話ができる。

○ 機械設備においても、防災、衛生、空調等、

すべて近代的なものであった。

と云う点です。

この施設を見て感じたことですが、施設の位置、建物・設備等、すべてにおいて近代的な立派なものであるということ。

しかし入所料金が入所者の前年の収入により、入所一時金が200万円から300万円、1ヶ月

の入所者の負担も20万円から30万円と言うことで、金がなければ入れないのか、と思いました。

これほど立派な施設・設備でなくても、誰もが安心して入れられるような施設を、いくつかの自治体共同で考えていけたらどうかと思いました。

# 産業建設委員会から

## 農産物の加工

### 一村一品村おこしの代表格

### 吉四六漬け

大分県の一村一品村おこしの代表格で1991年に全国朝日農業賞を受賞した吉四六漬けで有名なJ A 玖珠九重の漬物工場を視察しました。ここは年間3億7千万円の売り上げのある加工場です。名称の「吉四六」とは豊後の国の名物男で300年前のお百姓さんの名前だそうで、頼知にのみ、ユーモアと奇行は広く村人達に愛され、今でも語り継がれているそうです。玖珠九重地方は、標高240m～1700m 昭和村と同じような高原山麓地帯で清らかな空気と水に恵まれた地域で米

作りや畜産、椎茸等自然環境を生かした農業が営まれていきます。漬物工場は昭和53年に地元の野菜を原料に食品加工事業として開始以来、大分の豊後牛やほし椎茸と共に一村一品運動の代表として現在に至っています。吉四六漬けは醤油もろみ漬けで、年間の原料調達量は925トン、本漬け製品300トン、120社に卸し販売しているそうです。今後の製品の製造計画としては、消費者の食生活の多様化と共に、食嗜好も安全性の高い健康食品へと移りつつある中でも、漬物類について

は、減塩嗜好天然嗜好が求められ研究中とのことでした。

## 輸入野菜の実態は

130万都市の台所を担う福岡中央卸売市場青果市場を視察しました。今日本では年間100万トンの生鮮野菜が輸入されると言われています。中でも労賃が日本の20分の1で広い国土を持つ中国が一番の脅威と思えます。その中国に一番近い博多港のある福岡市

場に行けば中国野菜が見られると思いましたが、残念ながら商社と業者の直接取り引きが多く、あまり目にする事はできませんでした。説明の中で、平成元年と比較した場合平成12年では数量で4倍、金額では3倍弱になっているそうです。

また中国、アメリカからの輸入が年々増加し、平成元年と12年数量ベースで比較すると、中国が10倍、アメリカが7倍になっているそうです。ほとんどの野菜が輸入されていますが、生鮮野菜では、南瓜、玉葱、ブロッコリー、牛蒡、ネギ、キヤベツ、生椎茸、アスパラ、ニンニク、シヨウガ、蕪、レタス等です。また冷凍野菜として枝豆、ほうれん草、スイートコー

ン、里芋、その他塩蔵野菜、乾燥野菜、トマト加工等の一次加工品が輸入



▲福岡中央卸売市場青果市場を訪れて

されているとの事でした。今、輸入野菜は残留農薬の問題でニュースになっていますが、福岡市場では食品衛生検査所を設けて、毎日残留農薬検査を実施しているとのことでした。

消費者の立場で考えると、輸入野菜は日本では30年も前に製造禁止しているBHCやDDT、パラチオン等猛毒な農薬の残留問題があり、何を信用したら良いか不安です。本物嗜好の中、消費者と生産者のお互いの顔が見え、お互いを信用し、安全でうまい農産物をそれなりの価格で買ってもらう、消費者直結農業が良いのではないかと思います。



## みなさんからの請願・陳情



自：平成13年8月9日  
至：平成14年5月31日

受理番号	受理年月日	件名	陳情者の住所・氏名	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
113	H13.8.9	ライフル射撃場整備についての陳情書	群馬県猟友会 会長 藤井輔二郎 他2名	諸田貞治 吉野藤彦 古澤昇 横坂正章	総務	継続
132	H13.11.21	国民本位の公共事業の推進と執行体制等の拡充を求める陳情書	国土交通省全建設労働組合群馬県協議会 議長 渡辺万喜男		総務	趣旨採択
136	H13.11.26	「在日米軍地位協定」の見直しを求める請願	群馬県平和委員会 菊池定則 他1名	林 幸司	総務	審議未了
142	H14.3.12	炭焼き窯購入補助に関する陳情	清流を守る会 会長 室田条作 他1名	林 謙蔵 林 幸司 林 幸美 治田貞賢 横坂正章	産建	採択
143	H14.5.16	有事法制に反対する要請書	憲法改悪阻止群馬県各会連絡会議 代表委員 青柳健一 他6名		配布のみ	
144	H14.5.31	日本国憲法第9条を擁護し、有事法制関連法案の撤回を求める意見書採択についての請願書	利根沼田平和委員会 会長 穂苅清一	林 幸司	総務	継続
145	H14.5.31	有事法制三法案廃案の意見書を求める請願	安保破棄諸要求貫徹群馬県実行委員会 委員長 吉村駿一	林 幸司	総務	継続



桂 承 蔭 さん  
(45歳)

## 上海から昭和村に来て

昭和村に来て七年目を迎えました。中国の上海

は日本の東京と同じ都会です。成田から東京、東京駅から新幹線で上毛高原駅へ、そして車で昭和村へ、どんだん山の中に

来てびっくりしました。上海の中心地は坂道はありません、昭和村は坂と

山ばかり、又農業の仕事や生活にとまどいましたが夫の理解もあり最初は沼田市でパートとして



山 崎 修 さん  
(14歳)

## あいさつを大切に

朝、昭和中のあちこち

で、「おはようございます。」の明るい声が飛び交います。昭和中の生徒は先生や友達、来賓の方々にも必ずあいさつをしています。

あいさつは、日常生活

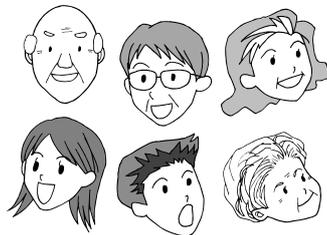
の中で基本的な事ですが、楽しく生活するためにとっても重要な役割を果たしています。あいさつは人の気持ちをとてもさわやかにしてくれます。

働きました。一年たつて自動車の免許証を取り自分で自由に動ける様になり、五年目に子供も生まれ、5月で二歳になりました。四月から子供を保育園に送って、リンゴや蒟蒻栽培の仕事を手伝っています。

保育園で子供を見ても

らえる事で、村のパソコン教室にもいけました。インターネットで昭和村のリンゴを全国に紹介したいです。

## 老たい・知りたい みんなの声



たった一言でその人の気持ちを変える力をもっています。でも、一年の時は、恥ずかしくて声が出せなかったという人もいました。が、中学校生活に慣れて来る頃には、みんな元気よくあいさつが出来るようになってきました。

あいさつは部活動でもしっかりやります。それを基盤として僕たちは今、夏の大会に向けて頑張っています。

## 昭和の森ゴルフ場で働いて



見 城 有 希 さん  
(18歳)

現在私は、グリーンズコーレ(株)の臨時社員として、昭和の森ゴルフ場で働いています。

拡大しています。お客様からは「芝がきれい」、「リーズナブル」など、好評です。

学生時代、私はアルバイトで接客を経験していましたが、就職の際、仕事に対する不安はありませんでした。今は「いつも笑顔でいること」をモットーとして頑張っています。

お客様の半分以上はピーターですが、客層は若年層が少ないと思います。私自身も、今後も友人や知人にゴルフ場をPRしていきたいと思っています。

4月22日にオープンして以来、約2ヶ月が経過しましたが、客足も上々で、村内から首都圏からの人までと顧客もかなり

不況で就職もままならない中で、村内にこのような雇用の場が今後ますます増えてくれれば、地域もますます活性化するとおもいます。



# 議会のうごき

## 5 月

- 2日 村内各小学校教職員 P T A 歓送迎会
- 10日 道路巡視
- 14日 第27回町村議会議長
- ~15日 研修会
- 16日 第1保育園建設委員会
- 17日 定例議長会
- 18日 陸上自衛隊視察
- 21日 議会各常任委員会
- ~24日 合同視察研修 (大分県・熊本県・福岡県)
- 26日 県民スポーツ祭 オープニング大会
- 27日 議会全員協議会 第27回昭和村敬老会 ポンプ操法訓練激励
- 29日 中国吉林省政府代表団 表敬訪問・歓迎パーティー

## 6 月

- 1日 利根沼田議会議員親善 ゴルフ大会
- 2日 利根沼田消防ポンプ操法競技会
- 3日 議会運営委員会
- 4日 県議長会臨時総会
- ~5日
- 6日 6月定例議会 (詳細は3ページに)
- ~12日
- 7日 昭和村 P T A 連絡協議会総会
- 10日 利根沼田地域合併問題勉強会
- 17日 赤城村議会・昭和村議会 合同行政対策勉強会
- 25日 議会全員協議会
- 27日 議会だより編集委員会
- 30日 山田会長全国町村議会議長会副会長就任祝賀会

## 7 月

- 2日 利根郡議長会
- ~4日 視察研修 (宮崎・鹿児島)
- 10日 臨時議会 議会だより編集委員会
- 12日 第1保育園建設委員会 視察研修
- 16日 議会だより編集委員会
- 17日 利根沼田広域圏
- ~18日 理事・議員合同研修会
- 26日 村有林下草刈り



# 議会に臨む

## 老人クラブから



飯塚勝二さん (74歳)

4月より昭和村老人クラブ連合会長をお世話になっていきます。何かとご指導ご協力をありがとうございます。

現在会員は約1200名となっております。年間通していろいろ事業を行っており、会員の交流と健康作りを目的にスポーツ大会を開催して

います。中でもゲートボール大会は好評です。福祉事業としては、社会奉仕作業、歳末助け合い一円玉募金などが主な事業となっております。

今や日本は世界一の長寿国と言われ、昭和村でも65歳以上の方が4人に1人という状況です。今年度より郡老連に

「輪投げ競技」が取り入れられました。このように年間を通して運動が出来る競技が盛んになり、屋内の利用が増えています。

当村は寒冷地のため冬期間グラウンドが利用出来ず、また雨天等の時は不便をしています。

現在、多目的屋内運動

場が一つのため遠い地区の会員は苦勞をしますので、出来ればあと2カ所ぐらい設置して欲しいと感じています。

これからも会員の健康づくりに邁進したいと思っています。

## 編集室から

梅雨季特有のじめじめした、暑さ寒さの続く毎日であります。

今なんとと言っても大きな話題は、市町村合併であると思います。

しかし市町村合併を考えたときに、まず地域で生活する住民に大きな影響を与えないかという問題や、もし合併と言うことになったら、どのような自治体ができるのか、住民の生活はどうなるのか等が重要だと思えます。

村づくりと住民サービス向上は、私たち議会の仕事ですが、今の行政環境がどうなるのかが気になります。

また住民が判断できる、わかりやすい資料等の提供が必要だと思えます。

昇記

とじておくと便利です